



報道関係者各位

2018年6月13日

「MSG Sphere Las Vegas」アリーナが今夏に着工、 ラスベガスの次世代エンターテインメント施設として 2020 年に完成予定

統合型リゾートを開発・運営するラスベガス・サンズ（本社：米国ネバダ州ラスベガス/NYSE:LVS）は、マディソン・スクエア・ガーデン・カンパニー（以下、MSG 社）との共同事業として、ラスベガスに建設を予定している「MSG Sphere Las Vegas」アリーナに関する最新情報を発表しました。



アリーナ外観イメージ図

去る5月17日、MSG社のジム・ドラン最高経営責任者は、18,000の座席を有する「MSG Sphere Las Vegas」アリーナの建設を今夏に開始すると発表しました。この施設は、2020年末までの完成を予定しており、ストリップ大通りにラスベガス・サンズが所有するザ・ベネチアンおよびザ・パラッツォの敷地が歩行者専用の橋で結ばれることとなります。LEDで覆われた球体が特徴的な同施設では、演劇や音楽といったライブ・エンターテインメントの他、スペシャルイベントが催され、リアルで没入感のある体験やこれまでにない距離感でアーティストと交流する機会を観客に提供します。この事業は、ラスベガスを次世代のエンターテインメント観光地として飛躍させ、同施設の運営、ならびにラスベガスへの訪問客の増加によって年間約7億3,000万ドルの経済効果と年間約4,800万ドルの税収を生むと期待しています*1。

ラスベガス・サンズは、世界で8つの統合型リゾート（IR）を運営しており、「MSG Sphere Las Vegas」アリーナは、観客を魅了するエンターテインメント界トップのパートナー企業やパフォーマーとの多岐にわたるコラボレーションの一環です。また同社は、日本において、特徴的な建築デザイン、一流のMICE施設、豪華な宿泊施設、そして充実のエンターテインメントサービスを提供する統合型リゾートの建設を提案しています。

ラスベガス・サンズのグローバル開発担当マネージング・ディレクターであるジョージ・タナシヴィッチは、次のように述べています。「日本で統合型リゾートが実現した場合、世界を代表するエンターテインメント観光地になる可能性を秘めています。統合型リゾ

ートが提供するエンターテインメントのジャンルの幅広さと質の高さは、地域のお客さまを楽しませるだけでなく、消費額の高い観光客の誘致にもつながります。また、統合型リゾートが開設されることによって、これまでに来日したことのない国際的なアーティストを招待する機会をもたらす、同時に、現地発のアートシーンが新しいエネルギーや国際的なステージの起爆剤にもなります。」

ラスベガス・サンズは、統合型リゾートをラスベガス、マカオ、シンガポールで所有しています。これまでにセリーヌ・ディオン、ブルーノ・マーズ、ローリング・ストーンズ、ケイティ・ペリー、Psy（サイ）などが公演しており、今後も多くの世界的に著名なアーティストが公演する予定です。同社がアジア地域で運営する統合型リゾートは、シアター、ボールルーム、アリーナを合わせて約30,000の座席キャパシティを誇っています。

*1 Hobbs, Ong & Associates 社による分析に基づく

<施設概要：「MSG Sphere Las Vegas」アリーナの特徴>

- MSG Sphere 施設の象徴的なデザイン要素である特徴的な球体
- 高さ 360 フィート以上、幅 500 フィート以上
- 全座席がステージに面し、18,000 以上まで拡張可能な座席キャパシティ
- 多様なオーディエンスに対応するラグジュアリーな座席や接客サービス、特別にデザインされたデラックスなアーティスト専用エリアなど、施設全体に行き渡るファーストクラスのアメニティ
- 主な最先端技術
 - 580,000 平方フィートの球体デザイン。オープンエアのトリス構造を採用し、長さ 190,000 フィートにもなるプログラム可能な LED 照明により、イベント、アーティスト、ブランド、パートナー企業をデジタルショーケースとして演出。
 - 世界最大かつ最高解像度の LED スクリーン。170,000 平方フィートにもなるディスプレイが球体型会場の内側を覆い、驚異的な視覚体験を提供。
 - 動的適応型音響システムがイベントの規模や種類にかかわらず、すべての観客にクリアなサウンドを届ける。ビームフォーミングを含め、多様な技術を採用している同システムは、球体型会場の特定方向に音を放射し、音の起点から到達点まで、ほぼ一定の音量を保つことができる。また、ビームフォーミング技術により、複数の音声形式を同時に放射することができるため、精妙にカスタマイズされた聴覚体験を演出することが可能。
 - インフラサウンド触覚フロアリングシステムにより、可聴域外のベース音をフロアの下から伝播させることで、高い臨場感を創出。
 - 新しいネットワーク接続構造を通じ、すべてのゲストに毎秒 20 メガビットの接続速度を確保し、より多様なコンテンツ、ゲスト間インタラクション、実体験型エンターテインメントを提供。
- 設計：世界有数の設計・建設事務所である Populous 社



展示会イメージ図

ラスベガス・サンズ

ラスベガス・サンズ（NYSE：[LVS](#)）は、ワールドクラスの統合型リゾートを開発及び運営している企業です。高級ホテル、クラス最高のゲーム、小売、食事とエンターテイメント、MICE（企業等の会議[ミーティング]、企業等の行う報奨・研修旅行[インセンティブ旅行]、国際機関・団体や学会等が行う国際会議[コンベンション]、展示会・見本市やイベント[エキシビジョン/イベント]）、その他多くのビジネス・レジャー施設を特長としています。私たちは、ビジネス旅行市場、観光・レジャー旅行市場のいずれでも、業界をリードする、ユニークで非常に成功したモデルである MICE を中心とする統合型リゾートを初めて開発しました。当社の施設には、米国・ラスベガスにおける[ザ・ベネチアン](#)、[ザ・パラッツォ](#)、[サンズ・エキスポ](#)、米国・ペンシルバニア東部の[サンズ・ベツレヘム](#)、そして象徴的なシンガポールの[マリーナベイ・サンズ](#)があります。また、[サンズ・チャイナ・リミテッド](#)の過半数の所有権を保有することで、ラスベガス・サンズは、マカオ半島における[サンズ・マカオ](#)のみならず、[ザ・ベネチアン・マカオ](#)、[ザ・プラザ／フォーシーズンズホテル・マカオ](#)、[サンズ・コタイ・セントラル](#)、[ザ・パリジャン・マカオ](#)をはじめとするコタイ・ストリップにおける施設のポートフォリオを所有しています。

またラスベガス・サンズは、良き企業市民であることに忠実であり、世界における 5 万人以上のチームメンバーに素晴らしい職場環境を提供すること、サンズ・ケアという企業の寄付プログラムを通じて社会的インパクトをもたらすこと、そして受賞しているグローバル・サステナビリティ・プログラムである[サンズ・エコ 360°](#)とともにイノベーションを起こすことを中心的な信条として支えられています。詳細は www.sands.com にてご確認ください。

お問い合わせ窓口

queryasia@marinabaysands.com

web: Sandsjapan.com